



宮城県名取市長も応援してくれています

海岸林再生プロジェクトの現場がある名取市の佐々木一十郎市長は、多忙な公務の合間をぬい、今年度の活動期間に計6回現場を訪れ除草などの現場作業にご参加くださいました。



クロマツの植栽をする佐々木市長

1月28日にオイスカが経済同友会と共催で「宮城県名取市 復興報告会」を東京で行い、佐々木市長に講演をしていただきました。

報告会にはプロジェクトをご支援いただいている企業や労働組合の担当者、マスコミ関係者、個人支援者など約150名の方が参加しました。



佐々木市長は、復興事業に関わるさまざまな制度が絡み合い、復興を複雑化させていると指摘。「学校規模が維持できるのか、商店街が利便性を提供できるのか、医療施設が来てくれるのか、金融機関が来てくれるのかはわからないけれど、とにかく(以前この地に住んでいて、今は町を離れているが、今後)戻ってくる人のために町をつくれというのも復興事業である。やるしかない。やるんだったら本当にいい町をつくらうじゃないかと取り組んでいるところである」という復興現場の首長としての言葉には苦悩とともに決意も感じられました。

また、海岸林再生プロジェクトを支えてくださっている企業・団体、個人のボランティアのみなさんに向けて「地元市民に参画の機会をいただいた。何より大きなプレゼントと思っている」との感謝のお言葉をいただきました。



!! 現場ボランティア募集 !!

2014年度に引き続き、2015年度も現場での育苗補助、植栽後管理補助、モニタリング関連などのボランティアを募集しています。

2015年度は植栽後の管理面積が増えるため、多くの方々の手が必要となります。ボランティア体験は決して楽ではありませんが、作業後の爽快感、クロマツへの愛着は作業してみないと実感できません。ぜひ、ボランティアへのご参加をよろしくお願いいたします。

<日にち>

- 4月18日(土) 5月16日(土)
- 6月20日(土) 7月18日(土)
- 8月29日(土) 9月19日(土)
- 10月17日(土) 11月21日(土)

<時間> 9:00~17:00

<申込み> 海岸林WEBサイトから



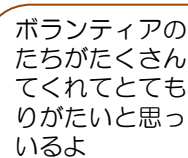
※詳細は海岸林WEBサイトでご確認ください。

** 私たちがクロマツ苗を育てています **



小松菜の作業が忙しくなっちゃって、ボランティアの人たちと一緒に作業できなくて...本当は交流しながら作業したいんだよ

クロマツは農家にとっては作物を守ってくれる大事なもののよ。松を育てるのは何十年もかかって大変だけど、自分たちの手で海岸林を再生させるんだ!と思いながら苗を育てているのよ



ボランティアの人たちがたくさん来てくれてとてもありがたいと思っていますよ



幸一さんは目の前で奥さんを津波で亡くしてふさぎこんでたけど、マツのお世話をしながらみんなとしゃべっているうちに、最近元気になったよね

*** クロマツ成長記 ***



播種から3週間 身長1cm
これが海岸の過酷な環境にも耐えるクロマツの芽?と思うほど弱々しく愛おしい



発芽40日 身長3cm
弱々しかった芽が少し松葉らしくなってきました。手を広げてダンスでもしているよう!



1歳 身長15cm
無事に1歳の誕生日を迎えられたことに感謝。たくさんの人の手によって育てていただきました



2歳 身長30cm
2歳の誕生日を迎え、植栽地でひとり立ちしました



2歳7か月 身長45cm
夏の強い日差しや強風にも耐えて、たくさんの人の愛情を受けて毎日少しずつ成長しています

復興のあゆみ

2011年



かつて「白砂青松」といわれる美しい松林が広がっていたが、津波により名取市の海岸林は壊滅的な被害を受けた (2011年9月5日撮影)



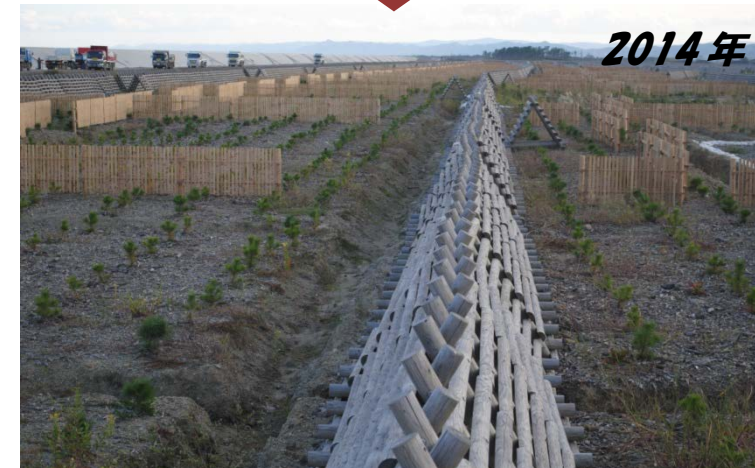
2013年



国の公共事業により高さ7mの防潮堤が造成され、かつて海岸林のあった場所には3mの盛土がされた。仕切りのように見えるのは東西双方からの強風を防ぐ防風柵 (2013年9月18日撮影)



2014年



クロマツが植栽された。すだれのように見える柵は、まだ小さなクロマツを強風と飛砂から守る静砂垣と呼ばれるもの (2014年9月19日撮影)